

令和5年1月22日執行
清水町議会議員選挙

選挙公報

清水町選挙管理委員会



無所属

中島里司

81歳

清水町は、社会基盤（インフラ）の整備について、十勝管内でも先進的に取り組んできた歴史を持ちます。その歴史を踏まえ、我が清水町においても知恵を出し合い、「後世に誇ることのできるまち」にならないければなりません。

その中でも特に、まちづくりの中心的役割や災害時の避難拠点としても活用できる、宿泊機能を持った多目的な「新体育館」の建設について、町民のみなさんの貴重な意見を取り入れながら進めて参ります。

また、私は次の点について重点的に取り組むことを町民のみなさまにお約束させていただきます。

- 一 基幹産業である農業については、その根本となる。「土」に力をつける基盤整備事業を推進して参ります。
- 一 農業、商業、工業の密接な連携を図り、町民が一体となったスピード感のあるまちづくりを目指します。
- 一 少子化・高齢化社会に対応できる福祉の充実を目指します。
- 一 清水高校の存続のため、地域とともにある清水高校の「魅力ある学校づくり」を全力で支援いたします。
- 一 中学校の部活動地域移行について、清水高校も含め、清水町で生まれ育つ子どもたちが、多様な文化芸術・スポーツ活動に取り組むことのできる環境整備を行います。

最後になりますが、幸いなことに現在小学生の孫二人と同居しております。この孫たちがふるさととして誇ることができ、将来も住み続けたいような「清水町」となるよう、これまででの行政、議員活動など私の持つすべての経験をかけて尽力いたしますことをお約束いたします。



無所属

にしやま輝和

七十五歳

一 住民の幸せを守る町政を支えます

高齢者にやさしく、若者の情熱を大切に、未来を創る子供たちが、いきいきのびのびと育つ、自然豊かなまち清水町。先人の開拓者精神を受け継ぎ、良き伝統を守り移住者の知恵に耳を傾け、先進地に学び住民の幸せのために、チャレンジを忘れないまちづくりを進める町政をしっかり支えます。

二 もっと住み良い御影地域を目指して

今、町内会が存続の危機に瀕しています。町内会ホントになくてもいいの？無理せず、無理なくひとりひとりが出来ることから始めましょう。それは、「こんなにちは」のあいさつだったり、道に落ちていたゴミを拾ったり、一人暮らしのお年寄りへの声掛けだったり、できることでもいいのです。本年が創立五十年目の「御影地域づくり推進協議会」とともに少子化、高齢化、過疎化が進む御影での地域医療をしっかりと構築します。安心安全で心豊かな暮らしは、どうあったら良いのか一緒に考え、地域一丸となってその実現を目指しましょう。

三 アイスホッケーのまち御影の特性を生かしたまちづくり

アイスアリーナを核に、充実した指導体制のもと全国各地からやって来る若者や家族を地域ぐるみで応援しましょう。そんな御影から世界にはばたく、子供たちが育っています。御影の特性を生かし、移住者を温かく迎え入れ交流人口も増やして、みんなが元氣の出る御影市街を再生しましょう。

四 公平公正で透明なまちづくりを

公平公正で透明で効率的な行政が進められているかを念頭に、初心を忘れずぶれることのない政治信条で取り組みます。



日本共産党

中河つる子

75歳

くらし、福祉優先の町政を

私は73歳から、お年寄りまで、安心して住み続けられる、くらしと福祉優先のまちをめざして4年間、議員活動をしてきました。

町内でスーパー2店舗閉店。困った主婦の声から遠くに住む高齢者のため、移動販売車の導入提案。令和4年6月より町内2ヶ所で移動販売が実現。

御影地域では、JR駅トイレの閉鎖で不便を感じていた町民の声を聞き「冬場も使える公衆トイレの設置」に尽力

2期目の公約

- 一、引き続き、高齢者、お子さんや町民の声を聞き「住みよい町」をめざして、町政に届けます。
- 一、小、中学校の給食の無料化をめざし、お母さんお父さんたちと協力して頑張ります。
- 一、国民健康保険税の18才までの子どもの均等割の減額、免除のためにかんばります。
- 一、基幹産業の農業の安定化にかんばります。

略歴

昭和23年清水町生まれ。御影小、中学校、清水高校卒業（通信制）放送大学卒業。御影郵便局に28年間勤務。民生委員8年。現在、地域サロン「かたくりの会」代表。清水町更生保護女性会会長。

令和5年1月22日執行
清水町議会議員選挙

選挙公報

清水町選挙管理委員会



清水町の可能性を本当の意味で掘り起こす

埋もれている地域資源を、掘り起こして目の前に並べただけでは「魅力的ではない」ということになってしまいます。関心や共感を喚起するものにしなければ「魅力的」にはなりません。

20年前に比べると清水町の財政力、借金額は改善され、道内では179市町村中39番手に位置するまでになりました。

しかしながら総合的な町のちからを偏差値で見ると全国1800弱の市町村の中で1000番台となってしまいます。（平均以下なんです）

ただ財政破綻目前といわれたところからの回復スピードは尋常じゃなかった（清水町には力がある）と思います。

この力はまだ失われていない。

そして地理的資源、産業資源、人的資源、環境的資源すべてにおいてマイナス的資源は見当たらない。

これらの資源を再編集して、これからの清水町を担う子どもたちのために、そして今を住みよく暮らすための「まちづくり」に挑みます。



無所属

高橋まさよし

六十三才



無所属

田村ゆきのり

四十八歳

しっかりと対話、着実に実行。
議会の本来あるべき姿を目指し、町民一人ひとりの
想いが実現できるまちづくりをすすめます。

役場職員として27年、総合計画の策定を始め、まちの様々な課題に取り組んできました。まちづくりのプレイヤー側に立つために、退職して約2年。地方創生コンサル会社を設立し、より大きな視点で、行政そして議会をみてきました。新たなチャレンジに対して、足を引っ張るのではなく、みんなで応援するような町にしたい。行政と民間、両方経験してきた自分にはそれができます。

アイスホッケーの振興

学びから生きる力を育み、
強みを活かして課題を克服するまち

清水町はアイスホッケーによってまちづくりができる数少ない自治体です。他自治体と差別化され「選択されるまち」になる可能性を秘めています。本町の豊かな自然環境、食、地域性、教育などにアイスホッケーを融合させ、地域経済の活性化、人口減少対策などの町が抱える課題を解決します。

関係人口の育成

人口減少カーブをゆるやかにし、
健康・福祉、子育て、教育などの質を高め、
住む人の幸福感や満足感が増えるまち

少子高齢化時代の人口減少対策は、先延ばしして良いことは一つもありません。清水町の優れた子育て支援や教育支援を、都市部に効果的に発信し、ワーケーション等とおして、清水町ファンをつくっていくことが、将来的な移住・定住につながり、持続可能な地域経済に寄与します。

議論から対話へ

まちづくりを、議会や行政に
任せきりにせず、町民が自分ごととして
「あたらしい姿」を共有するまち

日本全体で人口が減少していく未来は、誰も経験がしたことがなく、「正解を誰も持っていない問題」が、これから確実に増えてきます。「議論」も必要ですが、お互いの前提や意見の違いをわかり合おうとする「対話」がこれからは重要です。農林業・商工業・福祉・介護、教育・子育て、防災等、自由に対話しあえる環境をつくりまします。

プロフィール・経歴

- 生年月日／昭和49年5月24日 48歳
- 家族構成／妻、娘2人、息子1人
- 好きなスポーツ／アイスホッケー、野球
- 趣味／読書

- 平成5年 池田高校卒業
- 平成6年 清水町役場奉職
- 平成25年～ NPO法人清水町
- 平成29年～30年 アイスホッケー協会理事
- 令和元年～2年 清水小学校PTA会長
- 令和2年～3年 企画課広報広聴係長
企画課政策企画係長
第6期清水町総合計画策定
コイノヨカンプロジェクトによる
男子図鑑発行
地方創生コンサル会社
株式会社Office TAM Co.設立
- 令和3年～



無所属

ふかぬま達生

六十一歳

豊かな農業、確かな未来

四年前の町議会議員選挙の際には皆様方からご支援、ご支持を頂きまして心より御礼申し上げます。

四年間の議員活動の中でコロナにより飲食店やそれに関連する商店がかなりのダメージをうけました。

さらに物価高騰により町民の生活が厳しくなり燃料の高騰で運送会社などが悲鳴を上げています。

清水町の基幹産業である農業も肥料の高騰や酪農においても牛乳の抑制、飼料の高騰により今までにない厳しい状態がつづいています。

この厳しい時代の中、安心して暮らせるように責任ある世代として微力ですがまちづくりを頑張つてまいります。

ふかぬま達生の

5つの約束

1 一次産業を中心に

関連産業のさらなる発展に取り組みます。

2 子供からお年寄まで安心して暮らせるよう

防犯対策と福祉の充実を図ります。

3 人と人が支えあい

災害に強い防災体制を整えます。

4 町内の景観を綺麗にするため

空地や空家の対策に努めます。

5 町民の皆さんの声を大切に

温かいまちづくりを目指します。

プロフィール

- 昭和36年 清水町人舞生まれ
- 昭和49年 下人舞小学校卒
- 昭和52年 清水中学校卒
- 昭和55年 酪農学園機械農高校（現とわの森三愛高校）卒
- 昭和58年 就農
- 平成15年 下人舞小学校PTA会長
- 平成27年 下人舞地域振興会会長
- 平成31年 清水町議会議員初当選

令和5年1月22日執行
清水町議会議員選挙

選挙公報

清水町選挙管理委員会



無所属

さとう 幸一

七十五歳

「安全で安心して暮らせるまちづくり」を実現します

私は、これまで十二年間、町民の皆様の代弁者としてその声を市政に届けて参りました。

これまでの議員活動において、高校生までの医療費の無料化、パークゴルフ場の無料化、小中学校への冷房施設の整備、水道料基本料金の免除などを実現してきました。

しかし、まだまだまちづくりのためにやる必要があります。

一例を挙げますと

○子育て家庭に無料タクシーチケットの配付

○眼科診療科目の新設

○高齢者等の無料タクシーチケットの枚数増量

○清水駅跨線橋(階段)対策

○ビート(甜菜)作付けの維持拡大・ホクレン清水製糖工場の存続などです。

この度の清水町議会議員選挙にあたり、多くの皆様のご推薦を頂き、自分の使命を果たすべく、再度立候補を決意致しました。

清水町の皆様がいづれどこでも

「安全で安心して暮らせるまちづくり」の実現に向けて、

皆様と共に行動して参ります。

引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



まちは変わる!強い思いと、強い意志 めざすは、ワクワク・ドキドキしたまちづくり!

川上ひとし経歴

- 1957年 清水町生まれ
- 2018年 清水町役場定年退職
- 2019年 清水町議会議員(第1期)

主な社会活動

- 清水消費者協会 ●清水遺族会
- シルバー人材センター
- 清水町生活安全推進委員会
- 清水町バレーボール協会
- 清水神輿(みこし)会
- DV駆け込みシェルター十勝



無所属

川上ひとし

六五歳

例えば…

福祉を変える!
空き家・空き地を活用し
一大シェアハウスに
一人暮らしのお年寄りも
みんなで楽しく安心して暮らせる
そんな拠点を地域ごとに実現!
医療・福祉施設とも連携し
安心して老後が送れるまち
100年先を創造すれば
夢ではありません!

○基本スタンス○

川上議員はこの4年間、みなさんの期待に沿うよう、全力で議会活動に取り組んでまいりました。これからも「是々非々」の立場を基本に、町政のチェックと政策提案を実践し、町民みなさんに寄り添った議員活動をめざします!

今、清水に必要なのは100年先の未来を創造した、ビジョンあふれるまちづくり!
「まちは変わる!

強い思いと強い意志で!」

そんな清水をめざします!

「決断力・創造力・実行力!」…4年間の実績!

- 全議会で38の質問、議会報告「ひとしい通信」を17号発行し皆さんにご報告!
- 在宅介護オムツ支援の拡充、公園遊具整備、合同墓調査、「災害廃棄物処理基本計画」、「空き家等対策基本計画」他、各種施策・計画を前進、実現しました!

例えば…

農業を変える!
巨大な飼料トウモロコシ畑
飼肥地の地産地消で畜産を守る!
6次産業化でチーズ・ヨーグルト
乳製品あふれるまちづくり
みんなでチーズとワインで乾杯!
有機農業で持続可能な農業を実現
採れたて野菜は給食に提供
100年先を創造すれば
夢ではありません!

例えば…

観光を変える!
新・体育館に合宿(宿泊)・
キャンプ場、道の駅、巨大遊び場を
整備し、一大イベント拠点に!
アイスホッケーを軸に
清水高校の振興と活性化
観光・産業・教育・
全てが連携したまちづくり
100年先を創造すれば
夢ではありません!

▶▶▶ 行動します! 私が目指す「とかちしみず」 ◀◀◀

安定した経済

このまちで稼げる環境を

◆プレミアム付商品券の発行により町内経済の活性化を目指します。

◆若い世代が地元で働ける雇用環境を目指します。

◆産業の担い手不足解消に力をいれます。

◆食と観光を成長分野と位置付け、町内経済の更なる活性化を目指します。

安心の暮らし

いつまでも安心して暮らせるまちを

◆世代や分野を超えてつながり、町民の暮らしと生きがい、地域を共につくる地域共生社会を目指します。

◆除雪のレベルアップを図り、世代を超えて地域で快適な日常生活を目指します。

◆医療・看護・介護・福祉の一貫した連携による生活支援サービスを目指します。

◆無駄な事務事業を見直し、効率的で的確な行政運営を目指します。

希望あふれる未来

楽しくワクワクするまちを

◆人口減少を食い止めるために、スピード感を持って施策の実現に努めます。

◆交通の要衝と言われる地の利を生かした、楽しいイベントの開催を目指します。

◆楽しいアイデアが実現できる町を目指します。



無所属

ただの敏彦

六十歳

明るく、楽しく、元気よく

もっと豊かに、もっとワクワクと

積極果敢な行動力で、稼げる町をつくります

父から受け継いだお菓子屋を34年営んできました。活気あふれる町にしたいと、微力ながら、観光協会会長、商工会副会長、ハーモニーカード商店会会長など、様々な経済分野の役を務め、たくさんの方々と、膝を交えて話をしてきました。豊かな町をつくるためには、基幹産業である農業、さらに商工業に携わる人たちが、たくさん稼ぎ、働いている人の暮らしがもっと豊かになる必要があります。夢や希望が持てるワクワクする清水町をみなさんと一緒にあげていきます。

実績

- 清水町観光協会会長
- ・清水町トラックマーケット
- ・清水公園フェスティバル
- ・出前タクシー
- ハーモニーカード商店会会長
- ・石黒みゆき歌謡ショー
- ・リトルマーメイド観覧会 バス旅行
- 清水町商工会副会長
- ・清水マルシェ・清水バルはしご酒
- ・清水ウォーク

令和5年1月22日執行
清水町議会議員選挙

選挙公報

清水町選挙管理委員会



無所属

橋本てるあき

六十歳

力をあわせて乗り越えよう

「現場」・「現物」・「現実」を大切に、
人口減少社会をしっかりと受けとめ
時代にあつた、まちづくりをすすめます。

議会議員を6年務め、まちを変えたいとの強い
思いから町長選挙に出馬したが、もう14年前
になります。残念ながらその想いは叶いません
でしたが、本業の酪農業、かねてからの夢だった6
次産業化による自家産生乳使用アイスクリーム
の販売等、まじめに経営に取り組み、一町民とし
て微力ながら、まちづくりに参加してきました。
会社をよくするには、凡事徹底、当たり前のこと
をやり続けることが大切です。現場に足を運
び、「現物」を手に取り、「現実」をこの目で見て事
実を知る。議会や行政にもこの視点が重要です。

農業を持続可能な産業に

清 水町の基幹産業である農業の総生
産額は300億円を突破し、更に、
ホクレン清水製糖工場、日本甜菜製糖株
式会社清水工場、プリマム北海道工場
等の大規模工場をはじめとする地域に
根差した食品製造業もしっかりとおり、
農業の振興が商工業の振興へとつな
がっている町です。しかし、農業生産額が
伸びる一方で、就農人口は減り続けてい
ます。今の農業、特に酪農における危機
的状況を町の課題として受け止め対処
していく必要があります。今後、農業
を持続可能な産業にするためには、適正
な規模、適正な人員により営農していく
必要があります。経済規模だけに目を奪
われることなく、生産者がいつまでも働
き続けることのできる環境を整え、足腰
の強い産業へと育てます。

十勝清水の力を結集

人 口減少が進んだとはいえ、清水町の
人口は9000人以上、十勝管内
では、5番目、全道でも上位3割に入る
高い潜在能力や可能性がある町です。し
かし、町民が一致団結し、物事を前に進
めなければ、この力は、2分の1にも3
分の1にも分散されます。町の規模が縮
小していく中、意見を出し合い、意見の
違いがあつたとしても、折り合いをつけ、
決まった後は、一致団結して、まちづく
りを前に進めることが必要です。十勝清水
の力を結集するために、私は、「自分の目
で確かめ」「自分の耳で聴き」「自分の肌
で感じ」「自分で考える」まちづくりを徹
底します。

若者が安心して働ける町

全 国的に少子高齢化が進行し、年齢
構成が変化しているため、産業の担
い手が急速に不足しています。清水町に
おいても若年層の人口が減少し、基幹産
業の農業、農産加工業、運輸業、更には
高齢者や障がい者に係る福祉介護等、あ
らゆる産業の担い手の高齢化が進み、こ
のままでは産業、福祉サービスに支障を
来します。長期的な視点にたつて、若
者が定着し、安心して働ける環境をつ
くります。

住んで良かったと思える町に!!

1期4年間みなさまの声を力に「臨床心理士の学校配置」「避難
拠点施設にwifi設置」「小中学校のLED化」等を推進しました
「一人ひとりの“声”を大切に」やましたが実現を目指します

ひきこもり障がい者を支援！

一人ひとりの違いを受け入れ、尊敬と
思いやりで支えあう“まち”にしたい。
ひきこもりの実態調査から、個々に応
じて活躍できる地域社会を目指します。

こどもを大切に！

こどもは社会の宝、地域が一つになり
こどもを育てる“まち”にしたい。
事件・事故・災害・いじめ・SNS等
からこどもを守りことを目指します。

農業を守る！

日本の食糧基地の役割を担っている、
清水町の基幹産業である“農業”を守る
“まち”にしたい。
飼料・肥料高騰の対策に努めます。

活気のあるまちに！

町民が活き活きと活動し、幼児から高
齢者が行きかう“まち”にしたい。
街灯・歩道等の道路環境や町民がくつ
ろげる公園整備を推進します。



公明党

山下きよみ

やました

六七歳



無所属

鈴木たかずみ

五十四歳

ふるさと清水を強く想う

祭りの喧騒、近所の賑わい、歩いていると必ず声をかけてくれる近所の
方々。学校に行けば、二百人近い同級生とのふれあい。
ふと、今の清水町を見渡すと、閑散という寂しい一言に尽きます。これは
清水だけのことではないものの、近隣町村と比較しても、その人口の減り方
は何か早く感じます。いつまでも過去に縛られるつもりは無いものの、
この時代を恨めしく感じているのは正直な私の感想です。
この数年で大型スーパーが2店舗撤退し、清水、御影の街中も商店等の
廃業が続く、寂しい街並みとともに生活にも大きな影響が出ています。
時代の波に逆うことは出来ません。しかし、小さくても活力ある町は
出来るはずで、
活力を生み出すのは人。しかし、その前に未来の姿を具体的に想像する
必要があります。計画無くして未来なし。その場しのぎでは解決にはなりま
せん。

議会議員として必要なことは、何も考えず賛成するのではなく、また、
すべて否定するのではなく、しっかりと議論すること。そして議員ひとり
一人が提案することが出来るように町民の声をしっかりと聞くこと。
このことを肝に銘じて今後の4年間を担わせていただきたいと思います。
お世話になりながら、挨拶できていない多くの皆様に、深くお詫び申し上
げつつ、一貫して申し上げている、「誠実にそして正直に」を基本として、
まちづくりの活動をしていく所存ですので、変わらぬご支援賜りますよう
お願い申し上げます。

約束

- 安心して暮らせるように、福祉の推進に積極的に取り組みます。
- 町の環境が大きく変わる中、
高齢世帯や子育て世帯の生活環境を再点検します。
- 農業のICT化を前倒し、促進をはかります。
- 商工業の積極支援とともに、
新事業展開をサポートする体制を構築します。
- 議員定数の削減と議員の資質向上に取り組みます。

令和5年1月22日執行
清水町議会議員選挙

選挙公報

清水町選挙管理委員会

山本なおの政治に対する思い

- 1 こどもたちが心豊かに育つ環境をつくる
- 2 希望あふれる清水町をみんなでつくる
- 3 地産地消で食糧自給率を上げる



- 3 地産地消で食糧自給率を上げる
ヒト、モノ、コトの地産地消促進
町内の全産業の地産地消を促進。地元企業で十分に生活ができる町に。また産業の中核である農業を押し立て、我が国の食糧自給率向上を目指します。



- 1 こどもたちが心豊かに育つ環境をつくる
子どもの成長を第一にする社会を実現
お母さんが安心して子育てできる環境。子どもの個性を大事にする教育。小中学校での黙食解除やマスク自由化の「徹底」の早期実現を目指します。
- 2 希望あふれる清水町をみんなでつくる
みなさんが町の良いところに向け、もっと良くしようと思えるまちづくり
豊かな自然と調和した生活、安心できる子育て環境、やりがいのある仕事。清水町の良いところを伸ばし、もっと豊かで住みやすい、希望あふれるまちづくり。町民の郷土愛の再興を目指します。



参政党

山本なお

41歳

SDGsに基づいた持続可能なまちづくり
「人との絆や心のつながりあふれる地域コミュニティ」
ともに考え・ともに語り・ともに実行

	産業 持続可能な農業の発展 循環型農業・有機農業、地産地消	
	福祉 赤ちゃんからお年寄りまでみんなで支え合う社会の推進 【自助・互助・共助・公助】	
	防災・防犯 地域防災・防犯活動の推進 備えの充実・防犯環境の整備	

町政を身近に！感謝を忘れず挑戦！
します！やります！！頑張ります！！！！

郷土
清水町を守る



無所属

桜井たかひろ

六八歳

私は、この度、町内有志のご推薦を頂き再度立候補を決意致しました。

本町は、過去に財政破綻寸前から町民総意による、行財政改革を行い、今や健全財政の仲間入りができたと思われれます。

今後も行財政改革の精神を念頭に

(人口問題)
住みやすい環境づくり 人口減少要因対策。

(コロナ対策)
本町の発生は多い、感染者を減らす対策。

(財政問題)
財政健全策、行財政改革精神の堅守。

(農業問題)
基幹産業 農業の生き延び、不安。

(少子化問題)
産み育てやすい環境づくり、子育て支援策。

(高齢者問題)
健康寿命を高める、施設の充実。

(その他)
教育、観光、施設(体育館) 道路、橋等々課題は山積みです。

町の活性化のため、常に耳を傾け、全力を尽くす覚悟でございます。

ご支援をよろしくお願いいたします。



無所属

口田邦男

七十八歳

令和5年1月22日執行
清水町議会議員選挙

選挙公報

清水町選挙管理委員会

聴かせてください あなたの声を！
清水町議会議員選挙投票日

1月22日

清水町議会議員選挙投票所及び投票時間一覧

投票区	投票場所	投票時間	投票区	投票場所	投票時間
第1投票区	清水町中央公民館	午前7時～午後7時	第8投票区	熊牛福祉館	午前7時～午後6時
第2投票区	清水中学校	午前7時～午後7時	第9投票区	松沢福祉館	午前7時～午後6時
第3投票区	清水西地域集会所	午前7時～午後7時	第10投票区	美蔓福祉館	午前7時～午後6時
第4投票区	下佐幌福祉館	午前7時～午後6時	第11投票区	清水町御影公民館	午前7時～午後7時
第5投票区	下人舞福祉館	午前7時～午後6時	第12投票区	羽帯福祉館	午前7時～午後6時
第6投票区	人舞福祉館	午前7時～午後6時	第13投票区	清水町少年自然の家	午前7時～午後4時
第7投票区	北熊牛福祉館	午前7時～午後6時	第14投票区	旭山福祉館	午前7時～午後6時